

平成27年度社会福祉法人南但愛育会本部事業報告書

1 法人の理念の推進

- (1) 利用者の意向を尊重し利用者が尊厳を保ち健やかに育成されるよう支援する。
- (2) 利用者が能力に応じ自立した生活ができるよう支援する。
- (3) サービスの質と経営の透明性を高め経営基盤を強化する。
- (4) 地域住民及び福祉関係者と協力し地域福祉を推進する。

2 子育ての理念の推進

- (1) 私たちは、こどもの権利を保障します。
- (2) 私たちは、こどもの成長・発達を支援します。
- (3) 私たちは、こどもの自立を支援します。
- (4) 私たちは、地域の子育てを支援します。

3 理事会

- 5月27日 理事6名、監事2名、事業報告・決算報告、監査報告
- 8月4日 理事6名、乳児院建設計画、設計管理委託契約、第1次補正予算
- 9月2日 理事6名、乳児院建設に係る入札方法の決定、指名競争入札業者の選定
予定価格・最低制限価格、入札場所、立会者
- 10月26日 理事4名、監事1名 指名競争入札の執行(12業者)、(株)吉住工務店落札
予定価格100,800千円、落札金額96,000千円
- 3月23日 理事6名、定款変更、第2次補正予算、乳児院施設長の選任
- 3月24日 理事6人、平成28年度事業計画、予算、諸規程の制定及び改正

4 監査(監事監査)

- 5月22日 監事2名、理事長、施設長2名、職員2名

5 主要事務

- 4月 職員採用3人、辞令、労働契約書、労働条件通知書、36協定、24協定、諸規程の改正、新会計基準へ移行
- 5月 監事監査、事業報告、決算報告、社会福祉法人変更登記
- 6月 社会福祉法人現況報告
県法人審査会提出書類の提出
乳児院施設整備補助金の内示(国庫32,421千円県費16,211千円計48,632千円)
乳児院建設に係る地域説明会
- 7月 乳児院建設に係る地域説明会
- 8月 乳児院建設に係る地域説明会、設計管理委託契約の締結、第1次補正予算
社会福祉法人・社会福祉施設の監査に係るチェックリスト
- 9月 県へ乳児院新築工事図面・内訳書提出、指名競争入札業者選定
- 10月 職員採用試験、設計図書配付、入札執行、落札金額96,000千円
- 11月 工事請負契約締結(株)吉住工務店、請負代金103,680千円(税込)
- 1月 職員採用試験
- 2月 職員採用試験
- 3月 職員採用試験、乳児院建設工事完了、定款変更認可申請、補助金交付申請、

若草寮駐車場整備請負契約の締結（株）吉住工務店、請負代金 1,069.2 千円（税込）
補助金交付決定通知補助額 48,632 千円、第 2 次補正予算、事業計画、当初予算、
諸規程の改正及び制定

6 日常業務

児童処遇管理、安全管理、人事管理、労務管理、財務管理、資産管理、対外折衝

7 補助金

国庫・県費補助金	48,632,000 円
リボン運営費県補助金	9,367,000 円
処遇向上事業県補助金	95,238 円
学習環境改善事業県補助金	280,000 円
共同募金補助金	1,100,000 円
やまぶき財団補助金	1,700,000 円
合計	61,174,238 円

8 助成金

雇用開発助成金	450,000 円
合計	450,000 円

9 寄付受入

本部	1 件	200,000 円
若草寮	54 件	333,756 円
睦の家	58 件	330,100 円
合計	113 件	863,856 円

退 所	幼 児					1						1
	小 学 生	1										1
	中 学 生											
	高 校 生									1	1	
	そ の 他					1						1

4 生活時間のめやす

平 日		休 日		備 考
起 床	6:30	起 床	6:30～ 7:00	おおむね適応
朝 食	6:10～ 7:30	朝 食	6:50～ 8:00	＼
登 校	6:30～ 8:20	学 習	9:00～	＼
お や つ	10:00～10:30	お や つ	10:00～10:30	＼
昼 食	12:00～14:00	昼 食	12:00～13:00	＼
下 校	14:00～19:00			
お や つ	15:00～15:30	お や つ	15:00～15:30	一部児童は時間外
学 習	15:30～	学 習	15:30～	おおむね適応
入 浴	16:00～21:00	入 浴	16:00～21:00	一部児童は時間外
夕 食	17:30～19:10	夕 食	17:30～19:10	＼
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応
自主学习	21:00～24:00	自主学习	21:00～24:00	＼

5 児童集団行事

	行事名	場所	参加児童職員
4月2日	花見	ヒメハナ公園	児童 21 職員 6
4月29日	自然体験活動	神鍋高原	児童 9 職員 3
5月3日	カブトムシ探検隊	但馬長寿の郷	児童 15 職員 4
5月4日	自然体験活動	小代溪谷、但馬牧場公園	児童 8 職員 3
5月5日	野外バーベキュー	多々良木	児童 17 職員 5 他 2
5月9日	こいのぼりの集い	明石公園	児童 20 職員 9
6月6日	シーカヤック招待	竹野町切浜海岸	児童 10 職員 3
6月6日	ほたる祭り舞台発表	朝来市役所山東庁舎	児童 12 職員 4
6月13日	サッカー大会	三木山総合公園	児童 6 職員 2
6月21日	ボランティア交流行事	若草寮	児童 20、500人委員会
6月27日	バックステージツアー	新神戸オリエンタル劇場	児童 3 職員 1
7月19日	山東ライオンズ招待行事	山東自然の家	児童 23 職員 7
7月21日	海水浴	小天橋海岸	児童 8 職員 4
7月24日	ウォークラリー、美術鑑賞	朝来芸術の森美術館	児童 7 職員 1
7月25日	観劇(じろはったん)	和田山文化会館	児童 11 職員 2
7月30/31日	海水浴	小天橋海岸	児童 17 職員 5
8月2日	カブトムシ探検隊パート2	但馬長寿の郷	児童 10 職員 3
8月4日	納涼会「わかくさ祭り」	若草寮庭	若草寮 40 教諭他 16
8月7日	七夕祭り	若草寮庭	児童 20 職員 5
8月9日	コンサート「ソレイユ」鑑賞	睦の家	児童 16 職員 5
8月27日	社会体験、動物園外出	セントラルパーク	児童 14 職員 4

8月28日	フラワーアレンジメント教室	養父市	児童 11 職員 3
9月21日	卓球大会	秋葉台体育館	児童 18 職員 5
9月25日	社会体験、科学館外出	姫路科学館	児童 14 職員 4
10月18日	枝豆収穫招待	篠山市	児童 11 職員 4
11月7日	サッカースクール	明石陸上競技場、神戸	児童 6 職員 2
11月15日	芋煮会	若草寮園庭	児童 2 3 職員 6
11月15日	七五三参り	粟鹿神社	児童 2 職員 1 他 1
11月28日	みんなの文化祭	明石市立西部市民会館	児童 15 職員 5
12月21日	クリスマス会招待	八鹿ルーテル教会	児童 17 職員 5
12月23日	クリスマス会	若草寮	児童 45 職員他 30
1月1日	初詣	粟鹿神社他	児童 5 職員 4
1月16日	新年会	若草寮	児童 2 5 職員 7
2月6日	ドッジボール大会	洲本市文化体育館	児童 11 職員 4
3月12日	おもちゃ王国招待行事	東条湖	児童 18 職員 6
3月17日	高卒退所児童送別会	若草寮	児童職員全員
3月19-20日	大学生との交流行事	南但馬自然学校	児童全員、甲南大学 22
3月20日	レタス農業体験	オリックス農業養父レタス工場	児童 3 職員 1
3月28-29日	旅行	神戸、大阪方面	児童 27 職員 9

6 処遇計画の策定と実施

(1) 自立支援

個別児童について、こども家庭センターの処遇指針、児童、保護者、学校、地域の関係機関の意見を取入れ、自立支援計画を策定し、計画の実施と再評価を行い、個別児童の課題達成に努めました。

(2) 特別指導

10人の年長児童等について、スポーツや創作活動等の特別指導を行い、情緒の安定と人間性・社会性の養成を図りました。

(3) 個別対応

個別対応が必要とされる児童に生活場面や創作活動での1対1の対応や個別面接を行い、適切な支援に努めました。

(4) 心理療法

16人の対象児童に心理療法を行い、情緒の安定、コミュニケーションやソーシャルスキルの向上、自己解決の意欲や自信の獲得を図るため適切な支援に努めました。

(5) 家庭支援

家庭支援を要する児童とその家庭を対象に相談・指導等を行い、親子関係の再構築や家庭復帰に向けた支援に努めました。

(6) 里親支援

里親、ファミリーホーム支援の拠点的機能を備えるため、こども家庭センター、里親会と連携に努めました。

(6) 児童との懇談会

児童の意見や要望を取り入れ、行事計画を立て、児童の自主的、主体的な活動の機会を増やしました。

(7) 施設機能強化推進事業計画を立て、自立促進、地域交流、家庭生活体験、防災対策を進

めました。

(8) 処遇結果の概要

- ① 幼児は、日常生活に適応し明るく、元気よく、健やかに生活することができましたが、精神的に不安定で要望の多い保護者対応で苦慮する状況がありこども家庭センターとの連携を図り、保護者との信頼関係の構築を図りつつ適切な対応に努めました。
- ② 小学生の多くは、施設、学校、その他の社会生活に適応し、明るく、元気よく、生活することができましたが、学習の遅れている児童も多く、特別支援学級入級や施設での学習指導のあり方を検討し、個々の子どもの力に応じた適切な学習指導に努めました。
- ③ 中学生男子は部活動に励む児童が多く、意欲的に学校生活を送ることができましたが、一部児童には、登校しぶりも見られました。中学校卒業児童3名のうち1名は公立高校に進学、1名は高等特別支援学校に進学、1名は、私立高校に進学しました。
- ④ 高校生は、学校生活に適応し、それぞれ進級を果たすことができました。
3月に高校卒業した2名のうち、私立高校を卒業した児童は就職を機に家庭引取りとなり、特別支援学校高等部を卒業した児童は、自立支援を要するため措置延長となり、施設から職場に通っています。
- ⑤ その他、高校を卒業、就職後も、当施設での支援を継続していた児童は、措置解除し、無事に自活させることができました。
- ⑥ 中卒進学児童3名（県立播磨農業高校畜産科、福知山成美高校マネジメントコース、県立高等特別支援学校本科・職業科）
- ⑦ 高卒就職児童2名（株式会社汐屋、イオンリテール株式会社）
- ⑧ 問題行動があった児童4名、(喫煙1名、規則違反1名、器物破損1名、金銭盗み1名)
- ⑨ 特別な支援の必要な児童10名（登校しぶり2名、知的発達遅れ12名、情緒・軽度発達障害6名重複）
- ⑩ 継続的に通院が必要な児童15名（精神不安定、発育の遅れ、アレルギー、ぜんそく、弱視、中耳炎、ちくのう、貧血、皮膚疾患）
- ⑪ 里子委託
7月11日～12日・7月26日～29日・8月3日～8月7日・8月10日～8月17日 里子1里親1
6月13日～14日 里子3里親2 8月13日～23日 里子6里親5
11月21日～23日 里子6里親4 12月25日～4日 里子7里親4
2月20日～21日 里子2里親2 2月27日～2日 里子4里親2

[運営管理]

1 人事・労務

① 職種別職員数

職種	施設長	指導員 保育士	心理士	事務員	栄養士	調理員	非常勤	嘱託医	計
年度始	1	14	1	1	2	1	4	1	25
年度末	1	14	1	1	2	1	4	1	25

② 職員の採用

月日	職種	人数	学歴	福祉施設経歴等	備考
4月1日	保育士	1	短大卒	新卒	有期雇用

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、行事实行委員会会議、栄養士会議、小中育友会議、集団給食施設会議、こども家庭センターとの会議、子育て支援規準委員会との会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、自治振興会の会議、処遇関係者・機関との会議、家庭復帰評価委員会、要保護児童対策地域協議会議

7 研修

(1) 職員外部研修

県児養連職員部会研修、新任職員研修、基幹的職員研修、栄養士研修、給食職員研修、給食施設協研修、

乳児院・児童養護施設合同研修、防火管理講習、職員交流研修、子育て支援規準委員会研修会、近養協研修会、西日本職員員研修、児童虐待防止啓発研修、里親研修会、情報研修会、会計実務者研修、南但食育推進講演会、社会的養護研修、防火研修

(2) 職員内部研修

事業計画・予算研修、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、処遇技術研修、栄養・給食研修、危機管理研修、法令・諸規定・協定研修、施設職員交換研修、里親研修会、保育研修、発達障害研修

【施設整備等】

1 器具及び備品購入、構築物整備

7人乗り普通乗用車	1,984,342円	アートオート	3月
駐車場整備	1,069,200円	(株)吉住工務店	3月

2 業務委託

防虫防鼠駆除管理委託	97,200円	昭和リース	年間12回
消防用設備等点検整備委託	129,600円	西垣消防	年間2回
電気工作物保安管理業務委託	226,404円	関西電気保安協会	年間12回
一般廃棄物処理委託	178,741円	円山川環境サービス	毎週2回
グリストラップ清掃委託	58,320円	かんとーす	年4回

【寄付金・寄付物品、助成金】

1 寄付金

9件 143,000円

2 物品寄付

45件 190,756円

3 助成金

全社協助成金 120,000円

寄付金計 333,756円

【地域との交流・連携】

1 実習生の受入

(1) 関係大学・短大 神戸女子大短大、近大豊岡短大 園田学園大短大
湊川短大、頌栄短大、関西科学福祉大、神戸医療福祉大

(2) 実習生数20人延 226名

③ 職員の退職

月日	職種	人数	学歴	勤務年数	退職理由	備考
1月31日	保育士	1	短大卒	4.4	自己都合	
1月31日	児童指導員	1	大卒	3.0	自己都合	
3月31日	栄養士	1	大卒	3.0	自己都合	
3月31日	栄養士	1	大卒	3.0	自己都合	
3月31日	保育士	1	短大卒	1.0	雇用期間満了	

2 規程改正・制定・協定締結及び届出

(1) 規則改正

就業規則、給与規程 管理規定

(2) 協定締結

36協定 (3月28日締結4月1日届出)

3 健康診断等

(1) 児童

健康診断		検診	予防接種			その他		
春	秋		インフルエンザ	日本脳炎	麻疹風疹	入院	通院	
26	30		23	5	3		延	

(2) 職員

健康診断		腸内細菌 培養検査	予防接種		その他		
定期	その他		インフルエンザ				
春17秋26	1	延74	7				

4 消火、避難訓練

各月、年12回 児童延148名、職員155名

5 監査等

- (1) 行政指導監査 チェックリスト (8月22日提出)
- (2) 内部監査 監事監査 (5月22日、監事2人)
- (3) 消防査察 南但消防本部 (3月3日、2人)
- (4) 自主点検 (毎月、建物、設備、遊具等点検)

6 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議
- ② 職員ミーティング
- ③ 給食会議
- ④ 児童と職員の会議
- ⑤ 処遇検討会議(自立支援計画策定会議を含む)
- ⑥ 実習生と職員との反省会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

2 里親研修の受入

里親認定前研修 6月27日～28日 夫妻一組 1月23日～24日 夫妻一組

養育里親更新研修 2月28日 夫妻一組

3 介護体験の受入 10月12日～16日1人

4 こども家庭センター新任職員研修の受入 8月17日・19日豊岡こども家庭センター3人

4 ボランティアとの交流・連携

(1) 山東ライオンズクラブとの交流 クラブ会員 10人 児童・職員30人

(2) 心豊かな500人委員会との交流 500人委員会 9人 児童・職員32人

(3) 甲南大児童福祉研究会との交流 学生22人 児童・職員延60人

(4) 山東町民生委員(児童委員連合会山東支部)花植え 委員7人 児童・職員20人

5 学校・地域社会を通じての交流と連携

(1) 幼稚園、小学校、中学校、高校及び各学校育友会との交流・連携

(2) 地域の学童生徒の保護者家庭との交流・連携

(3) 子供会、サークル、地域行事への参加・施設行事への招待

(4) 子育て学習センターとの交流・連携

6 関係機関・各種団体との連携

(1) 県児童課等関係部局、こども家庭センター、健康福祉事務所、教育・保健・医療機関

(2) 市役所、警察署、消防署、家裁、検察庁、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁

(3) 民生委員、虐待防止ネット、県・近畿・全国の児童養護施設協議会

(4) 子育て支援規準推進委員会・第三者委員、運営適正化委員会

(5) 社会福祉協議会・共同募金会、児童福祉・社会福祉財団

(6) 但馬里親会、要保護児童対策協議会(但馬、丹波篠山各市町)

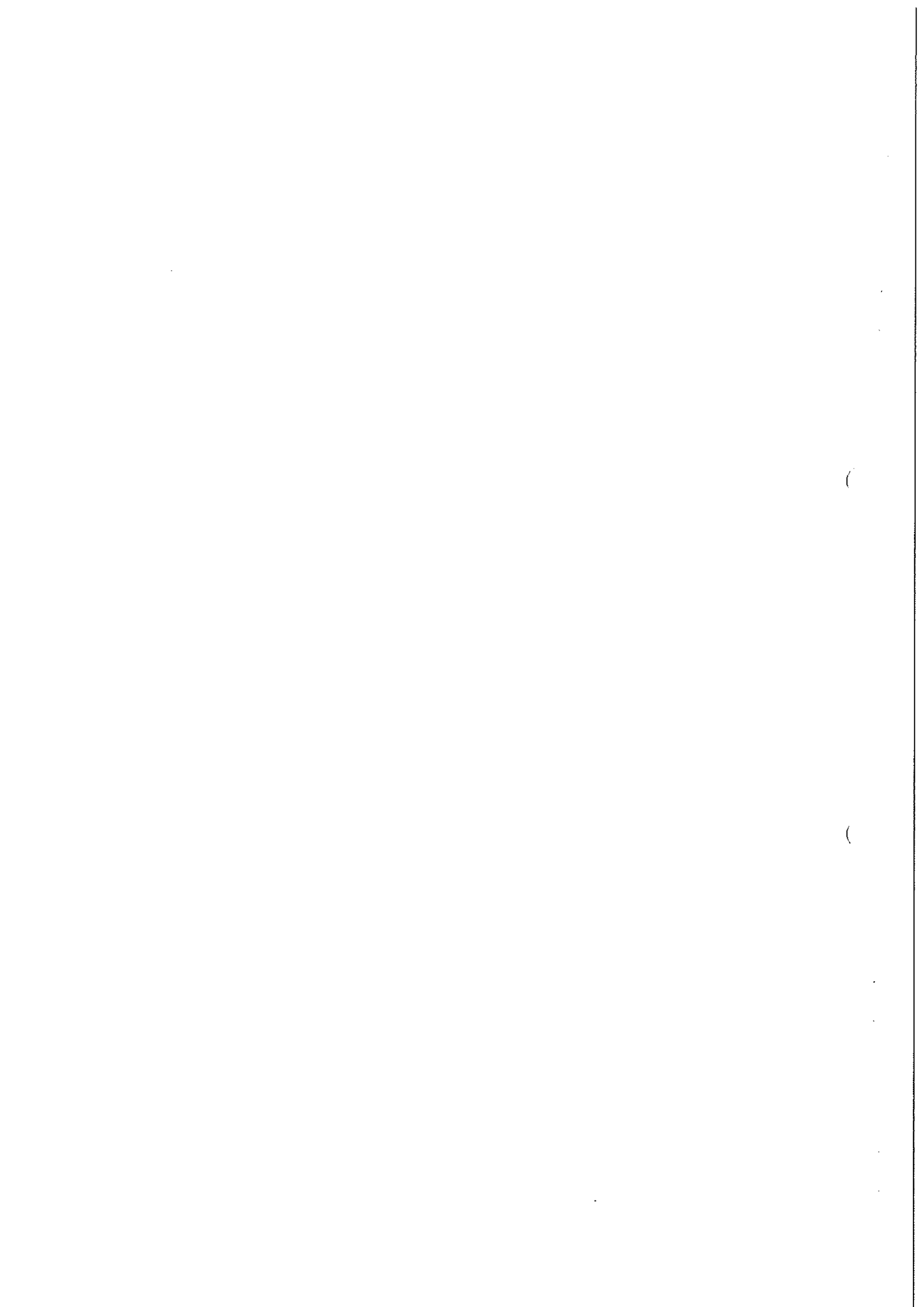
7 地域の子育て相談事業・支援事業

(1) 一時保護

(2) ショートステイ事業

(3) 子育て相談事業

(4) 里親・里親子への支援



平成27年度児童養護施設睦の家事業報告書

- 1 所在地 兵庫県丹波市青垣町文室 204 番 2
 2 利用定員 30 人
 3 職員定数 19 人 配置数 24 名 (平成 28 年 3 月 31 日)
 4 事業開始年月日 平成 25 年 4 月 1 日
 5 事業運営基本計画

(1) 理念の実現を目指すと共に環境を理解把握し、状況に適応した諸計画を策定、実行する。

(2) 施設のユニット化、高機能化を推進する。

(3) 理念

- ① 利用者の意向を尊重し、利用者が尊厳を保ちつつ、健やかに育成されるよう支援する。
- ② 良質、適切、総合的な福祉サービスを提供する。
- ③ 事業を適正に遂行するため経営基盤を強化し、サービスの質の向上と経営の透明性を確保する。
- ④ 地域の住民及び福祉関係者と相互に協力し、地域福祉を推進する。

6 処遇実績

(1) 年間在籍児童数 (各月初日在籍児童数)

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・2 歳児						1	1	1	1	2	2	2	10
年少児	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	65
小学生	11	11	11	11	11	7	8	8	8	9	9	9	113
中学生	5	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	74
高校生	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	55
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		11
計	27	27	28	28	28	25	26	26	27	29	29	28	328

(2) 一時保護・ショートステイ延日数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護					14	30	33	48	89	31	29	28	302
ショート			2	14				24	12		3		55

(3) 入所・退所児童数

区分\月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所	幼児						1				1		1	3
	小学生						1				1			2
	中学生		1						1				1	3
	高校生					1								1
退所	幼児					1								1
	小学生					4								4
	中学生													
	高校生												1	1
	その他												1	1

(4) 日常生活

規則正しい生活への自主的な適応を目指し指導に努めました。

平 日		休 日		備 考
起 床	6:30	起 床	6:30～7:00	おおむね適応している
朝 食	6:10～7:30	朝 食	6:50～8:00	〃
登 校	6:30～8:20	学 習	9:00～	〃
お や つ	10:00～10:30	お や つ	10:00～10:30	〃
昼 食	12:00～14:00	昼 食	12:00～13:00	〃
下 校	14:00～19:00			一部の児童は時間外
お や つ	15:00～15:30	お や つ	15:00～15:30	一部の児童は時間外
学 習	15:30～	学 習	15:30～	おおむね適応している
入 浴	16:00～20:30	入 浴	16:00～20:30	一部の児童は時間外
夕 食	17:30～19:10	夕 食	17:30～19:10	一部の児童は時間外
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応している
自主学习	21:00～24:00	自主学习	21:00～24:00	おおむね適応している

(5) 児童集団行事等実績

- 4月 5日 花見 丹波少年自然の家 児童20名 職員7名
- 5月 2・4日 映画鑑賞 三田イオン・福知山 児童15名 職員 5名
- 5月 3日 自然体験活動 人と自然の博物館 児童5名 職員3名
- 5月 5日 園内バーベキュー 睦の家 児童20名 職員10名
- 5月 9日 こいのぼりの集い 明石公園 児童16名 職員 9名
- 6月13日 県養連サッカー大会 三木山総合公園 児童7名 職員2名
- 6月27日 バックステージツアー 新神戸オリエンタル劇場 児童3名 職員1名
- 6月28日 県児童福祉施設卓球大会 王子体育館 児童6名 職員2名
- 7月19日 山東ライオンズ招待行事 山東自然の家 児童23名 職員10名
- 7月24日 海水浴 竜宮浜 児童12名 職員5名
- 7月24日 海水浴 竹野海水浴場 児童 7名 職員4名
- 7月30日 海水浴 竹野海水浴場 児童 8名 職員3名
- 8月 9日 ボランティアコンサート 児童21名 職員8名 ボランティア9名
- 8月10日 登山 篠山方面 児童7名 職員2名
- 8月27日 プロ野球観戦 ホットもっとスタジアム 児童4名 職員1名
- 10月14日 演劇鑑賞 やまなみホール 児童5名 職員1名
- 9月28日 日本プロサッカースクール招待 住友総合G 児童3名 職員1名
- 11月 1日 県職員サッカースクール招待 明石陸上競技場 児童4名 職員1名
- 11月 2日 観劇招待 丹波の森公苑 児童8名 職員3名
- 11月 8日 文室歩こう会 高源寺 児童8名 職員3名
- 11月28日 養連行事みんなの文化祭 明石西部市民会館 児童11名 職員4名
- 12月 6日 焼いも会 睦の家 児童27名 職員10名 地域・学校関係者
- 12月23日 クリスマス会 睦の家 児童30名 職員20名 地域の方
- 1月24日 着物の着付け 睦の家 児童2名 ボランティア 3名
- 2月 6日 養連ドッジボール大会 洲本市文化体育館 児童10名 職員 3名
- 2月 7日 もちつき大会 睦の家 児童20名 職員7名 ボランティア12名
- 2月11日 事始め 文室公民館 児童12名 職員6名

- 3月5日～6日 春の旅行 香川方面 児童6名(女子ユニット) 職員2名
- 3月5日～6日 春のスキー旅行 但馬方面 児童5名(男子ユニット) 職員2名
- 3月12日 東条湖おもちゃ王国招待行事 児童 9名 職員 5名
- 3月20日 農業体験招待 オリックス養父レタス工場 児童4名 職員2名
- 3月28日～29日 春の旅行 香川方面 児童11名(小学生) 職員6名

(6) 避難訓練実績

各月1回 年12回

(7) 処遇計画の策定と実施

① 自立支援

個別児童について、こども家庭センターの援助指針、児童、保護者、関係機関の意見を取入れ、自立支援計画を策定し、計画の実施と再評価を行い、個別児童の課題達成に努めました。施設からの自立は2名(専門学校卒、特別支援学校高等部卒)でした。

② 特別指導

16人の年長児童等について、スポーツや創作活動、芸術等の特別指導を行い、情緒の安定と人間性・社会性の養成を図りました。

③ 個別対応

被虐待児や集団に適応し難い児童等、個別対応が必要とされる児童について、生活場面・創作活動での1対1の対応や個別面接を行い、個別ニーズを理解把握し、愛着関係の再構築を図りました。

④ 心理療法

15人の被虐待児や情緒面での課題があり、こども家庭センターと事前協議を行った児童について、心理療法を行い、情緒の安定、達成感や自信の獲得、愛着関係の再構築等の支援を行いました。

⑤ 家庭支援相談

保護者への相談・指導等を行い、親子関係の再構築を図り、家庭復帰に向けた支援をしてきました。また、季節里親等の家庭生活体験活動への取り組みを進めました。家庭復帰件数は2家庭5名でした。

⑥ 児童集団行事

児童の意見や要望を取り入れ、それぞれの季節の合った行事の計画、実行に努めました。

7 処遇結果の概要

- (1) 幼児は、概ね日常生活に適応し明るく、元気よく、健やかに生活することができました。軽度発達障害の児童2名については、専門医、専門機関と連携し支援体制を整えました。
- (2) 小学生の多くは、施設、学校、その他の社会生活に適応し、明るく、元気よく、生活することができました。情緒面での課題のある児童については、専門医、学校との連携のもと対応しました。
- (3) 中学生は全般に元気に生活することができました。12月入所の中3児童については、青垣中に転校させず、入所前の在籍中学校への通学支援を行いました。
- (4) 高校生はそれぞれに目標を持って高校生活に臨むことができました。高校卒業の2名については、短期大学進学(期間延長)と、老人デイサービスに就職(障害者グループホー

ム入居) となりました。また、期間延長の専門学校生も無事に卒業し、希望していた企業へ就職することができました。

- (6) 特別な支援の必要な児童9人
知的障害7、情緒・軽度発達障害4
- (7) 通院児童36人、延185人
- (8) 予防接種 インフルエンザ29名 日本脳炎5名 麻疹風疹4名 ヒブ1人
4種混合1名
- (9) 健康診断 春27名 秋26名

【運営管理】

1 人事・労務

(1) 職種別職員数

職 種	施設長	指導員保育士	心 理	事務	栄養士	調理員	非常勤	嘱託医	計
年度始	1	11	1	1	2	2	5	1	24
年度末	1	11	1	1	2	2	5	1	24

(2) 退職 なし

2 規程改正・制定・協定締結及び届出

(1) 規則改正

就業規則 給与規定 管理規定

(2) 協定締結

36協定 (3月26日締結4月1日届出)

3 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議
- ② 職員ミーティング
- ③ 給食会議
- ④ 児童と職員の会議
- ⑤ 処遇検討会議(自立支援計画策定会議を含む)
- ⑥ 実習生と職員との反省会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、行事实行委員会会議、栄養士会議、小中育友会議、小、中、高評議員会、集団給食施設会議、こども家庭センターとの会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、自治振興会との会議、県児養連理事会、近養常任委員会、要保護児童対策地域協議会議

4 職員健康診断 和田山健康倶楽部 入社時検診 4月 1名
 定期健診 10月 20名 11月 3名
 インフルエンザ予防接種 14人
 腸内細菌培養検査 17回 延べ68人

5 監査等

(1) 第三者評価受審 1月18日、19日

(2) 行政指導監査

チェックリストによる監査

(3) 消防査察

消防査察 平成27年度はなし

(4) 自主点検

建物遊具点検 (毎月)

6 研修

(1) 職員外部研修

県児養連職員部会研修、新任職員研修、栄養士研修、給食職員研修、給食施設協研修、乳児院・児童養護施設合同研修、職員交流研修、近養協研修会、職員交換研修、児童虐待防止啓発研修、里親研修会、社会的養護研修、基幹職員研修

(3) 職員内部研修

事業計画、子育て支援規準研修、自立支援計画実施研修、支援技術研修、栄養・給食研修、危機管理研修、法令・諸規定・協定研修、施設職員交換研修、保育研修、発達障害研修、施設内虐待防止研修

7 苦情解決対応

口頭及び意見箱に寄せられた内容について、以下の通り対応した。

受付月	内容	対応
27年4月	同ユニットの児童の洗濯物の管理が不十分なので、定期的に職員にみてほしい。	ユニット担当職員に伝え、改善を図った。
27年5月	中高女子ユニットに、男性職員はできるだけ入ってほしくない。	必要などき以外は入らないこと、入る際は合図をすることを職員間で確認する。
27年11月	手作りおやつのを増やしてほしい。	関係職員に伝え、栄養量に問題がない範囲で工夫する。
27年12月	特定職員に対する批判。 (うざい、むかつく、うるさい)	当該職員に状況確認。生活指導をする際は感情的トラブルを招かないよう配慮することを確認。
27年12月	小6の就寝時間の9時が早すぎる。	児童との話し合いの場を持ち、就寝時間の見直しを行った。

【施設整備等】

1 器具及び備品の購入

デスクトップパソコン	136,944 円	オカダヤ	3月
------------	-----------	------	----

2 車輛運搬具の取得

普通乗用車	2,108,420 円	ホンダカーズ多可	8月
-------	-------------	----------	----

【寄付金・寄付物品受領】

10万円以上分 なし

寄付件数 58件 303,100円

【地域との交流・連携】

1 実習生・ボランティアとの交流と連携

- ・実習生等の受入と指導及び実習関係大学との交流・連携

※実習受け入れ校

近大豊岡短大 園田学園大 湊川短大 聖和学園大 甲南女子大 大阪こども学院
18名 180日

- ・ボランティアとの交流・連携

7月 4日 青垣町民生委員 花植え 民生委員15名 児童13名

2 学校・地域社会を通じた交流と連携

- ・こども園・小学校、中学校、高校及び各学校の育友会との交流・連携
- ・地域の学童生徒の保護者家庭との交流・連携
- ・サークル、地域行事への参加・施設行事への招待
- ・民生児童委員施設訪問

3 関係機関・各種団体との連携

- ・県児童課等関係部局、こども家庭センター、関係市家児相、健康福祉事務所、教育・保健・医療機関
- ・市役所、警察署、消防署、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁
- ・民生委員・主任児童委員、県児童養護連絡協議会・近畿児童養護施設協議会
- ・全国児童養護施設協議会・子育て支援規準推進委員会・第三者委員・社会福祉協議会
- ・共同募金会・但馬里親会・要保護児童対策協議会（丹波市、篠山市）

4 地域の子育て相談事業・支援事業

- ・一時保護
- ・ショートステイ事業
- ・子育て相談事業

平成27年度児童家庭支援センターリボン事業報告書

〔事業目的〕

地域の児童福祉に関する問題につき児童に関する家庭からの相談のうち専門的な知識及び技術を要するものに必要な助言を行うとともに市町村の求めに応じ技術的助言その他必要な援助を行うほか保護を要する児童又はその保護者に対する指導を行いあわせてこども家庭センター、児童福祉施設等と連絡調整等を総合的に行い地域の児童、家庭の福祉向上を図る。

〔事業実績〕

1 相談に応ずる事業

(1) 相談対応延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	40	22	59	32	41	23	53	15	15	28	32	10	370
継続相談人数	0	13	12	20	16	25	42	21	42	17	64	34	306
月別相談人数	40	35	71	52	57	48	95	36	57	45	96	44	676

(2) 実施内容

- ① 相談者に対して、親子のコミュニケーションや、望ましいしつけに関して、具体的な方法を伝える等の支援を行った。
- ② 相談に応じる中で、子どもの特性に応じた関わり方を知るために発達検査・知能検査を行い、保護者や担当者、担任教師などに関わり方を助言した。
- ③ コモンセンスペアレンティング・トレーニングを用い、親が子どもの問題行動に教育的に対処できるしつけのスキルを身につけられるよう促し、良好な親子関係の構築と虐待予防を図った。

2 市町村の求めに応ずる事業

(1) 朝来市5歳児発達相談事業へ心理士を派遣した。

朝来市5歳児発達相談事業

	2月	3月	合計
実施回数	4	0	4
対象者数	21	0	21

(2) 篠山市、丹波市、豊岡市、朝来市、養父市、香美町、多可町の要保護児童対策地域協議会へ参加し、地域の現状を把握すると共に各々の役割を認識した。また、連携ケースの情報を交換し、役割分担と連携の必要性を認識した。

(3) 朝来市内の子育て学習センター4ヶ所（朝来、生野、山東、和田山）に毎月訪問し、保護者の子育て・発達相談を受け、各センター担当者とケースを共有した。

	訪問回数	人数
朝来子育て学習センター	9	95
生野子育て学習センター	9	163
山東子育て学習センター	7	221
和田山子育て学習センター	8	170
計	33	649

(4) 研修会等の実施回数、対象者数

① 朝来市子育て学習センターCSP研修会

	朝来	生野	山東	和田山	合計
実施回数	2	2	2	2	8
対象者数	16	17	5	12	50

- ② 養父市民生委員・児童委員および養父市児童協力委員合同研修会 回数2、96名
- ③ 豊岡市民生委員児童委員協議会視察研修 回数1、27名
- ④ 朝来市山東町民生委員・児童委員児童母子部会視察研修 回数2、16名
- ⑤ 丹波市氷上民生委員・児童委員協議会視察研修 回数1、18名
- ⑥ 多可町民生委員・児童委員協議会児童福祉部会施設見学及び研修 回数1、28名
- ⑦ 三木市吉川民生委員・児童委員協議会児童部会視察研修 回数1、10名
- ⑧ 美作大学社会福祉学科ゼミ施設見学 回数1、8名
- ⑨ 社会的養護関係者合同研修会 回数1、54名

<実施内容>

- ① コモンセンスペアレンティングトレーニングについて、プロジェクターなどを用いて説明や講話を行い、親が子どもの問題行動に教育的に対処できるしつけのスキルを習得できるよう促し、良好な親子関係の構築と虐待予防を図った。
- ② 各地域の現状について情報交換を行うと共に、当センターの事業説明とその役割と機能を説明した。

3 子ども家庭センターからの指導委託による指導

(1) 指導委託人数2人

- ① 豊岡こども家庭センターの委託 施設から家庭復帰ケース1件
- ② 中央こども家庭センターの委託 施設から家庭復帰ケース1件

(2) 指導委託対応延べ件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
46	31	15	33	20	21	21	12	0	0	0	0	199

(3) 実施内容

- ① 定期的な訪問、通所、電話・メール相談、手紙・はがきによる助言、指導を行った。
- ② こども家庭センターへ毎月指導状況報告書により、状況を報告した。
- ③ こども家庭センターから助言、指導を受けながらケースの支援を行った。

4 里親支援

- (1) 養育里親認定前研修における里親施設実習の中で、児童家庭支援センターリボンの里親支援について説明し利用を促した。 回数2、4人
- (2) 里親サロンを開催し、研修の場や交流の機会を設け連携を図った。 回数2、18人
- (3) 里親からの相談に応じ、里親の悩みや不安に対する助言、養育に関する助言などの支援を行った。
- (4) 里親のニーズに応じてレスパイトケアの委託先などの情報提供や調整を行った。
- (5) ホームページ、会報をはじめ、子育てひろばなどで里親制度の広報を行った。
- (6) 北摂・丹波地区里親会総会に出席し、里親会との連携を図った。
- (7) 朝来市里親ケース関係機関連絡会議に出席し、朝来市内の里親里子について情報共有し、関係機関と支援の連携を確認した。

- (8) 豊岡子ども家庭センター圏内里親支援連絡会に出席し、里親支援についての情報共有、意見交換し支援についての連携を図った。
- (9) 里親委託検討会議に出席し、里親委託推進に向けて関係機関と情報共有し支援についての連携を図った。
- (10) 里親支援意見交換会に出席し、関係機関と里親支援について情報共有し支援についての連携を図った。
- (11) 兵庫県里親関係機関意見交換会に出席し、関係機関と里親支援について情報共有し支援についての連携を図った。
- (12) 社会的養護関係者合同研修会を実施し、里親を含め社会的養護関係者と支援について学ぶ機会を設けた。
- (13) 但馬里親会研修会に出席し、情報共有と支援についての連携を図った。

5 関係機関との連携、連絡調整

電話、メール、来所、訪問等の回数 1268回、うち夜間対応6回

(1) 主な内容

- ① 豊岡子ども家庭センターとのケース情報交換会をもち、豊岡子ども家庭センターからの紹介ケースについて情報を共有し方針の確認等を行った。
- ② 一時保護、ショートステイの受け入れ窓口としての役割を担った。
- ③ 民生児童委員協議会との連絡会議において当センターの役割や機能を説明すると共に、意見交換、情報交換を行った。
- ④ 各市健康課・福祉課、教育委員会（学校・保育園）と連携ケースに関する情報交換を行い、各々の役割を認識した。
- ⑤ 里親支援連絡会に出席し、豊岡子ども家庭センター・里親支援専門員と連携を図った。

6 地域支援事業・子育て支援事業

事業名	実施回数	人数	内容
まちの子育てひろば リボン・ほっとサロン	11	64	絵本講座、玩具作り、季節制作 座談会、交流会等
まちの子育てひろば 浜坂子育て支援センター	1	24	6月子育てスキルアップ講座
まちの子育てひろば 関宮子育てひろば たんぼぼ	1	15	7月子育てスキルアップ講座
まちの子育てひろば 地域子育て支援センター おやこるーむ	1	4	7月子育て相談会
まちの子育てひろば ヨチヨチランド	1	11	7月子育てスキルアップ講座
まちの子育てひろば 大屋幼児センター 子育て支援どんぐり	1	20	9月子育て相談会
まちの子育てひろば さくらんぼーむ	1	12	10月子育てスキルアップ講座
まちの子育てひろば 温泉子育て支援センター	1	17	10月子育て相談会
まちの子育てひろば 高井子育て・子育て支援 センター	1	37	10月子育てスキルアップ講座
県児家センター協議会オレンジリボンキャンペーン	1	89	11月児童虐待防止啓発イベント
計	20	293	

7 運営管理

(1) 職員数

	センター長	副センター長	相談支援員	心理士	計
年度始	1	1	2	2	6
年度末	1	1	2	2	6

(2) 職員人事

区分	年月日	職種	人数	事由
	27年12月14日	常勤相談支援員	1	産休、育休終了復帰
異動	27年12月20日	常勤相談支援員	1	産休、育休代替終了復帰

(3) 健康診断等

① 定期健康診断

10月19日、11月9日、12月4日 3人